

フラップTM型ポンプ 病棟でのご使用方法



150mL / 300mL / 450mL

※ MRIに使用しないで下さい。金属バネを使用しています。

ArgyleTM Fukuroi Multi-ChannelTM Drainage Set

フラップTM型ポンプの構造

Yアダプタ

ポンプとドレナージカテーテルを繋ぐ吸引口です。カテーテルに付属されている専用のコネクタでロック可能です。

逆止弁

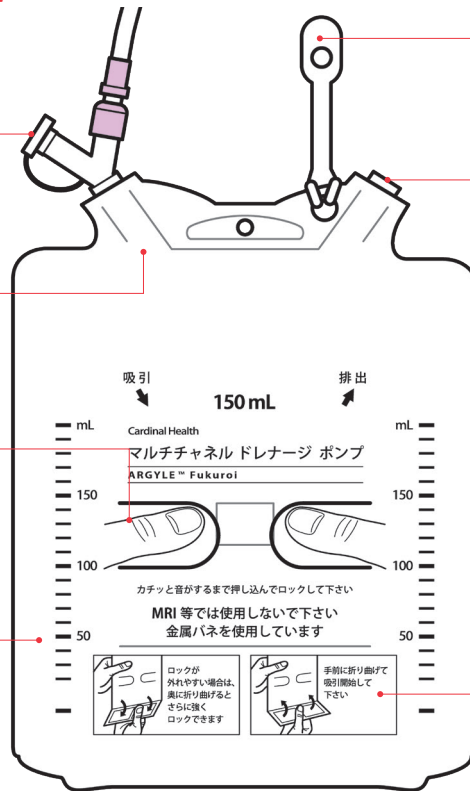
逆止弁が付いており、貯留物が逆流するのを防ぎます。

ロック時の親指位置

作動前にここに親指を当てて強く押すと、中のバネが圧縮されてロックが掛かります。

容量目盛

排液量の測定を行う時は排出口キャップを外し、ポンプを垂直にして完全に広がった状態で行います。



排出口キャップ

ポンプを圧縮した後に閉めるキャップです。計量・排出の前に外します。

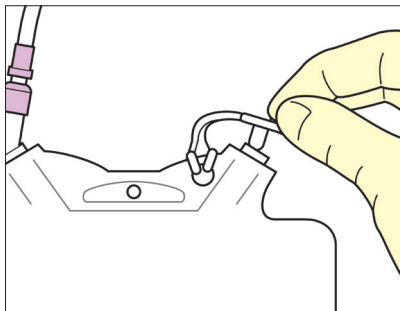
排出口

貯留物を計量・排出を行う時に開放します。

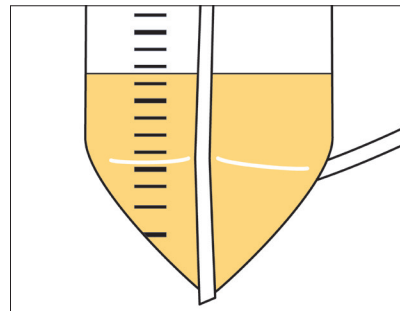
フラップ

作動前のロックを確実にするためにフラップを奥側に折り曲げます。吸引を開始する時はフラップを手前に折り曲げてロックを解除します。

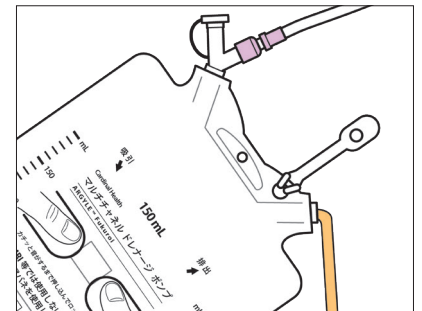
1. 排液の計量／排出



1. 排出口を上にし、フラップ型ポンプを垂直にした状態で排出口キャップを開けます。逆流防止弁が付いているので、ドレナージカテーテルのクランプは不要です。

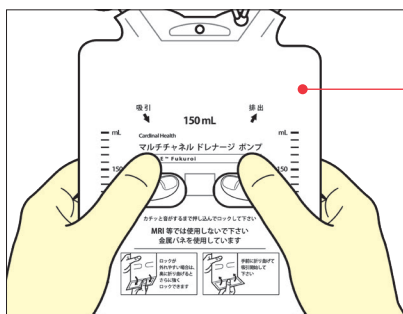


2. ポンプを垂直にした状態で、側面の容量目盛で計量します。

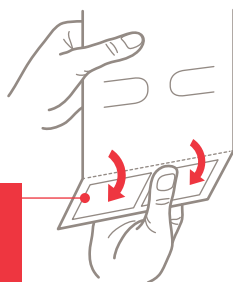


3. フラップ型ポンプを傾け、排出口から排出します。

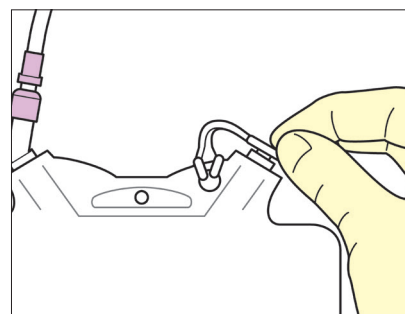
2. 吸引再作動の準備をします



カチッと音がします (ロック)



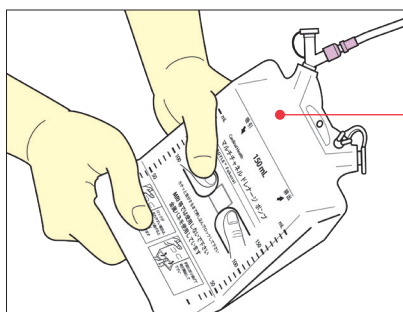
フラップを奥に少し折り曲げてロックを確実にします



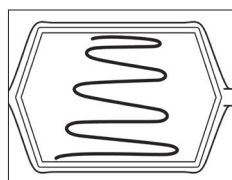
4. 静かにポンプを圧縮し、ポンプ内部の空気を排出、カチッと音がするまで圧縮します。

5. 排出口キャップを閉じます。

3. 吸引を再開します (再作動)



カチッと音がします (ロック解除)



6. ポンプ底部のフラップを音がするまで静かに手前側に折り曲げ、吸引を開始します。

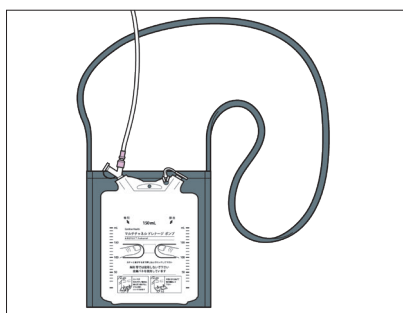
※ 各接続部の接続状態やポンプの吸引状態は適宜観察して下さい。

※ 直後にポンプ全体が膨らむとエアリークのサインです。

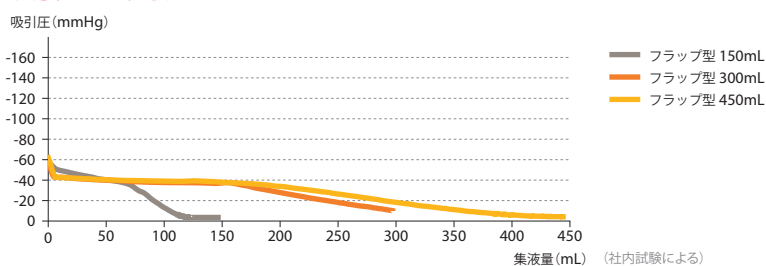
※ スプリングによる陰圧で排液します。

※ 金属バネを使用していますので、MRI等では使用しないでください。

4. ポシェットに収納します



吸引圧と集液量



7. 携帯用のポシェットを付属してありますので、離床の際はポシェットをお使いください。

販売名 : マルチチャネル ドレナージ ポンプ
 医療機器届出番号 : 09B1X00004000147
 製造販売元 : フォルテグロウメディカル株式会社


CardinalHealth™



製品情報サイトはこちら

お問い合わせ先
 カーディナルヘルス株式会社
 Tel : 0120-917-205
cardinalhealth.jp